

三体千字文を書く(71)

締切り 十一月二十日(必着)

回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲照先生書

容 止 若 思
容 止 若 思
容 止 若 思

氏名

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二―五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

容止若思

言辭安定

立居振舞は、物を考えているよう厳かにし、

言葉を出すときは、善し惡しを良く考えてからにせよ。

一般部規定課題

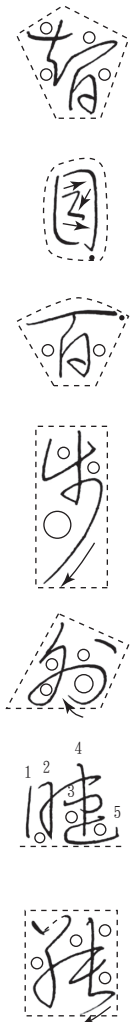
締切り 11月20日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔読み〕 智は目の如し 百歩の外を見て 睫を見る能わず



▶教範・書範は右課題を「行書」で師範は「楷書」で出書して下さい。



尾郷翠光書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



加藤祥子書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

◆12月課題予告（楷書）
瓜田に覆を納れず
李下に冠を正さず
古楽府

▼教範・書範Ⅱ行草または草書
▼師範Ⅱ行書

★智は…（書体Ⅱ行草または草書）
韓非（？前二三三）
中国戦国時代末期の思想家
この言葉が書かれている書物は「韓非子（かんぴし）」といい、絶対権力による法治主義を説いており、法家思想の代表的著作です。
言葉の意味は、目は遠くを見ることができても自分の睫（まつげ）を見ることができません。それと同じで、人間の知恵は他人のことはわかるが、自分のことはわからないと言っています。

◆12月課題予告（行書）
決定をあせるな
一晚眠れば
よい知恵が出る

★自分で…（書体Ⅱ楷書）
フォード（一八六三～一九四七）
アメリカの実業家
薪を割ることによって自分の体を温め、自分が割った薪で部屋を温めれば、一挙兩得というものです。
十六歳で機械工となり、努力を重ねて、ついに世界の自動車王となったフォードのこの言葉には、人の長たる者の自戒もこめられています。

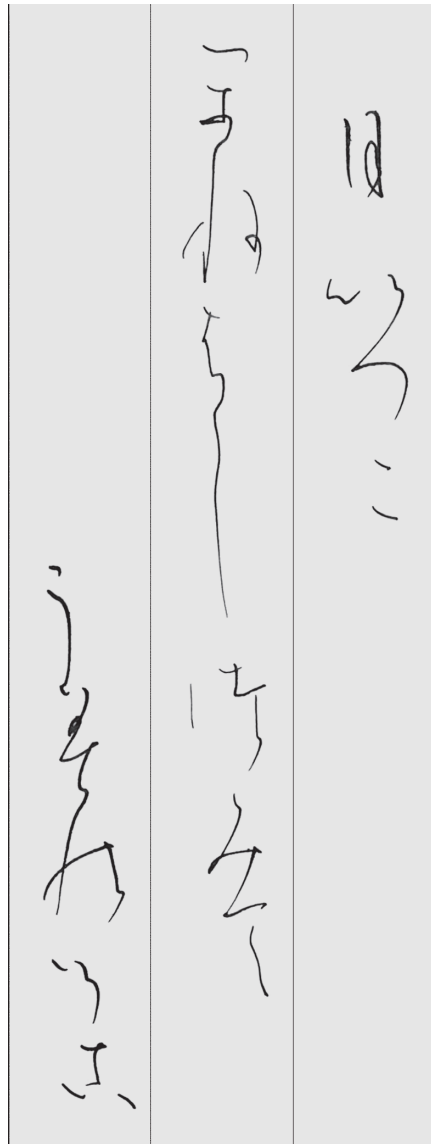
一般部かな課題

締切り 11月20日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

月^以いづこ
かねは^閑しづみて^者
うみ^徒の^天そこ^美
^能
^曾
^古

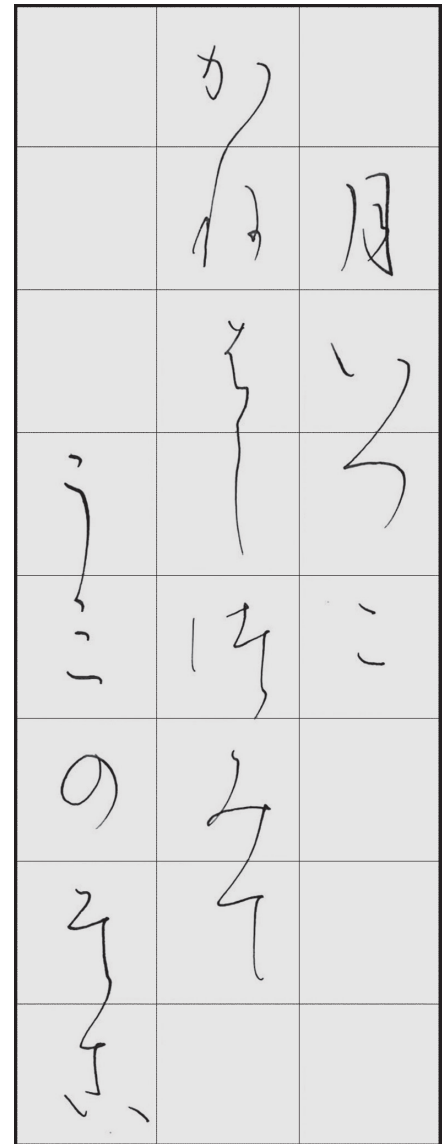


石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

月^以いづこ
かねは^閑しづみて^者
うみ^徒の^天そこ^美
^能
^曾
^古



石垣秀華書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

月いづこ鐘はしづみて海の底

(芭蕉句集より)

〔出典〕元禄二年。敦賀金ヶ崎での吟。
草庵集(放鳥集)

〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四四)〜元禄七年(一六九四)俳人。名は宗房、別名は桃青・風羅坊。

〔大意〕鐘ヶ崎の沈鐘伝説をふまえて、鐘は海に沈んで再び上がってこないが、今宵の名月は一体どこへ行ってしまったのか、と無月を惜しんだ句。

〔解説〕一の句と三の句で筆圧を加えて太くし、二の句は軽快に書いた。流れよく軽快に運筆してほしい。

〔古筆参考〕

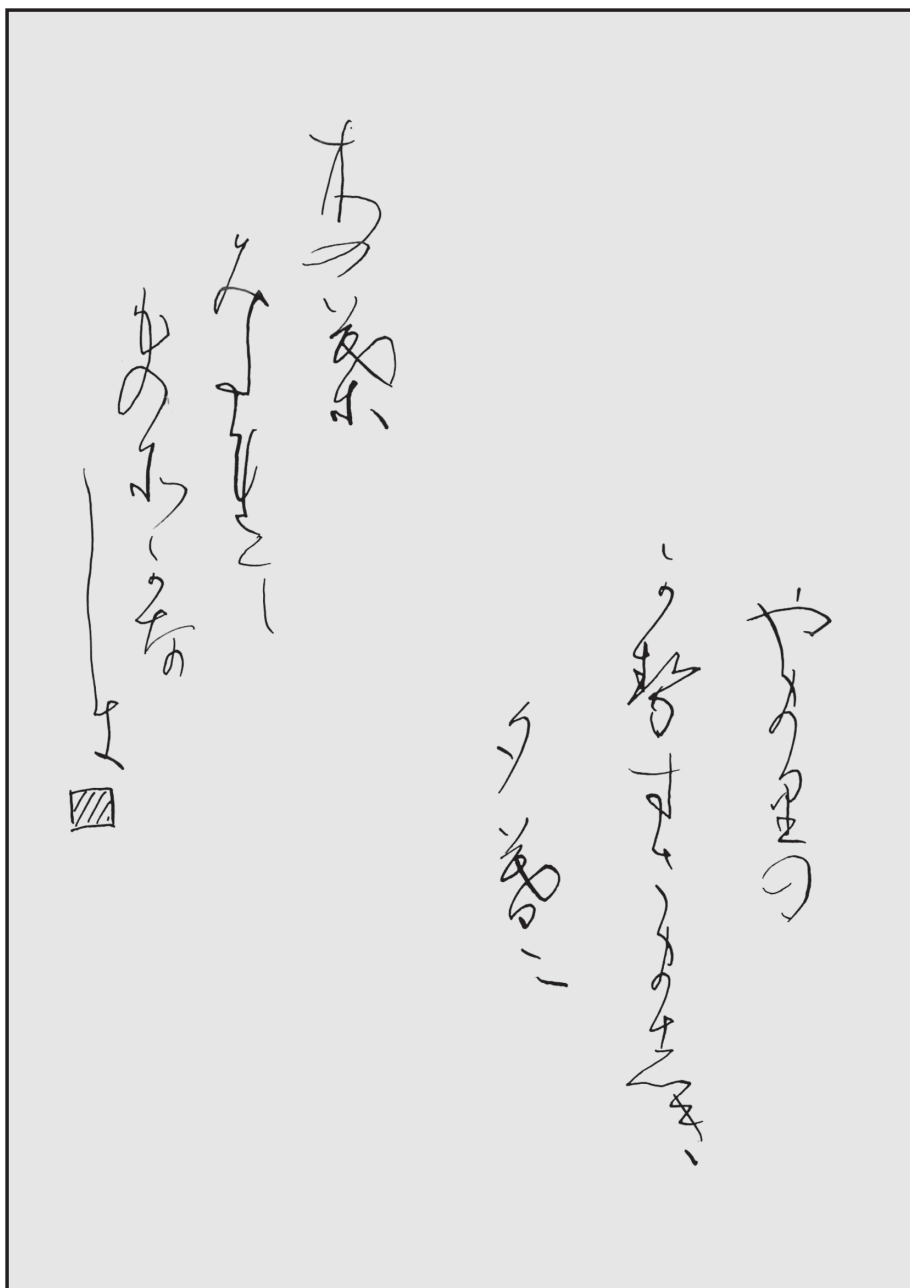
以^いいづこ
閑^かかねは
者^はしづ
美^みみづ
古^こうみ
の^のそ
そ^そ

◆12月課題予告

水寒く寝入りかねたるかもめかな

締切り 十一月二十日（必着）

大迫秀湖書



山里の風すさまじき夕暮に
木の葉乱れて物ぞかなしき

〔歌意〕 風がすさまじく吹く山里の夕暮は、木の葉が散り乱れ、心も乱れて、ひどくもの悲しいよ。
〔出典〕 新古今和歌集（新潮日本古典集成）

〔古筆参考〕

勢せ 夕 暮 勢 秘

志し 志 志 志 志

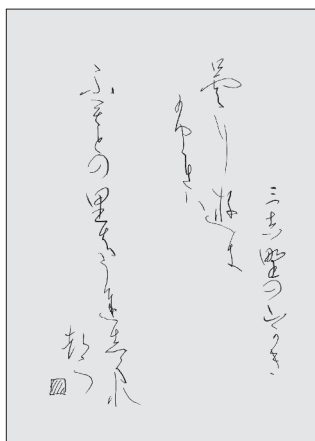
多た 多 多 多 多

連れ 連 連 連 連

所そ 所 所 所 所

支き 支 支 支 支

◆12月課題予告



み吉野の山かき曇り雪降れば
ふもとの里はうちしぐれつく

締切り 11月20日(必着)

冬がかけ足でやってくる気配の
感じられる今日この頃、いかが
お過ごしですか。ペン字展の後は
土岐市と恵那市の美術展の方にも
出品(硬筆部門)してみませんか。
出品申込書をお送りします。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できま
す。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課
題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

冬がかけ足でやってくる気配の
感じられる今日この頃、いかが
お過ごしですか。ペン字展の後は
土岐市と恵那市の美術展の方にも
出品(硬筆部門)してみませんか。
出品申込書をお送りします。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん 書
岡 嶋 桂 川

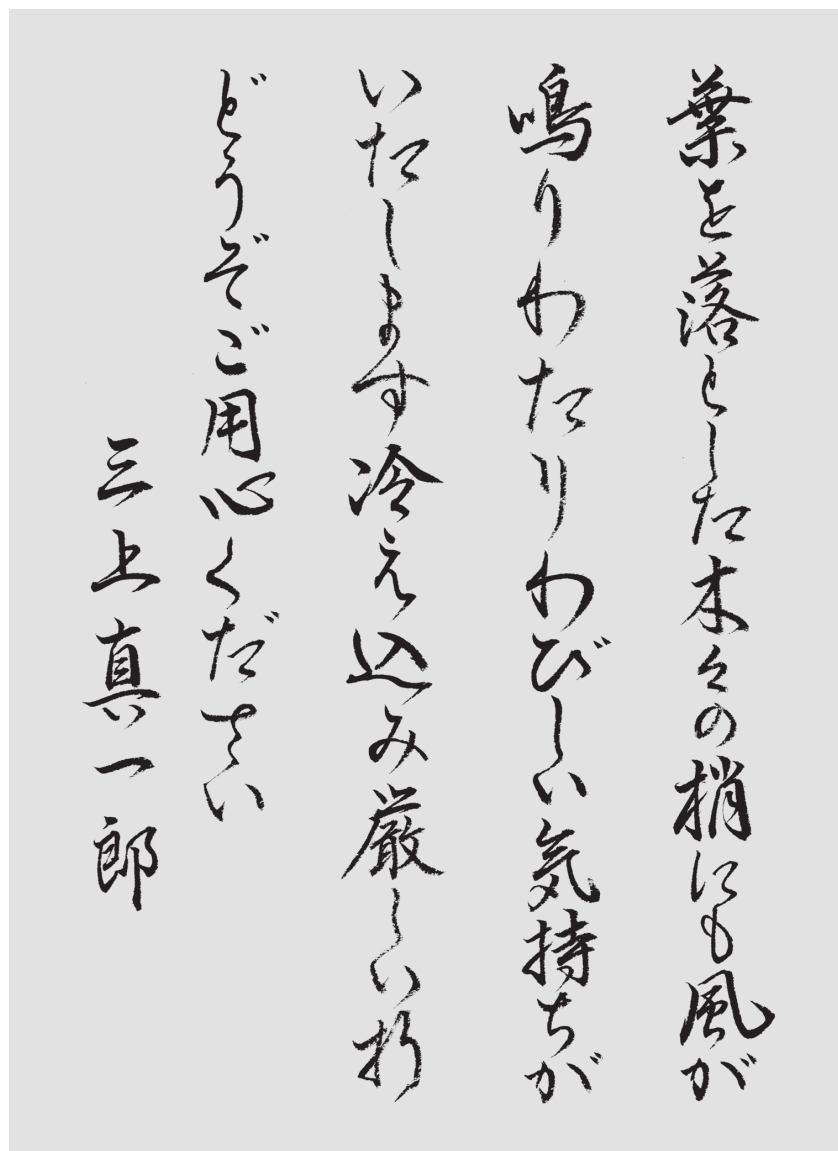
奥の細道は、松尾芭蕉の代表的な
俳句行脚の旅日記として有名だ。

岡山県浅口市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香 書



締切り 十一月二十日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

新井龍峰 書

一夜紙窓明似月

多年布被冷如氷

曾茶山

〔条幅解説〕

毎月のことですが、大書心誌が手許に届くと、課題手本を見て書かれる方が多いと思います。初中級者とはかくとして、上級者ともなれば、字典を開く習慣を身に着けたいものです。写すという作業も大切ですが、師範・教範ともなれば、自身で字典を開き書作しなければ、真の上達は望めません。

葉を落とした木々の梢にも風が
鳴りわたりわびしい気持ちがい
たします 冷え込み厳しい折

どうぞご用心ください

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔大意〕

雪のあかりのために紙窓は夜明るく月よりもよく、布の夜具は氷よりも冷たい、それは今年にはじまつた事ではない。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

新入から1級まで(楷書)

柴田桃花書

明月流光

めいげつそこうをながす
明月流素光

〔大意〕明るくさえた月かけは白き光を地に流している。

〔解説〕

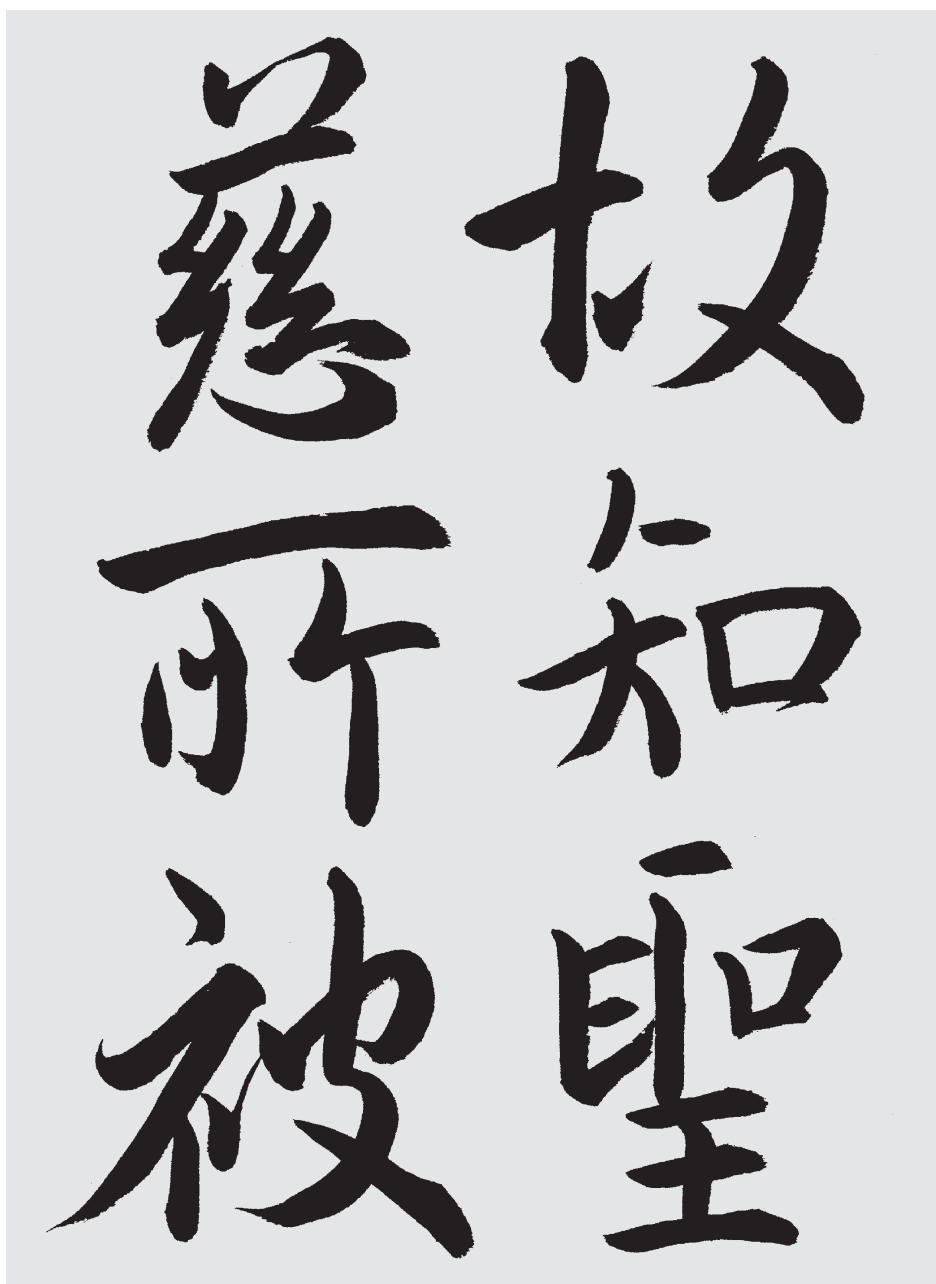
明月流光
素月

◆12月課題予告(行書)

丹楓葉落寒

準初段から師範まで

須田一葉 臨



故
知
聖
慈
所
被



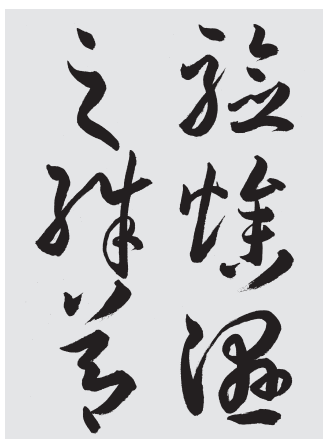
〔解説〕

〔出典〕 集字聖教序（六七二）
〔筆者〕 王羲之の法書より集字
〔読み〕 故に知る、聖慈の被う所



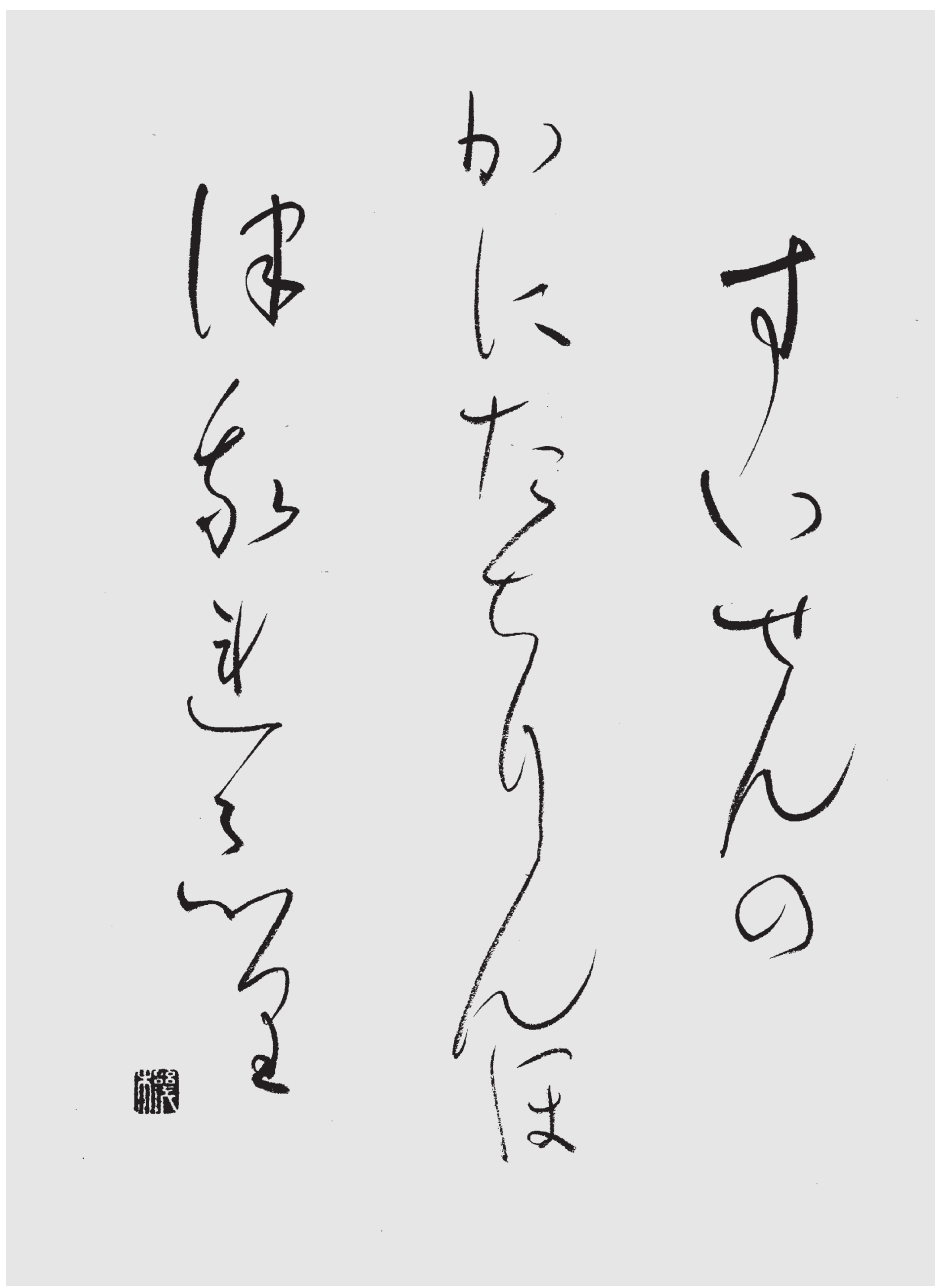
※文献によって字体が異なる場合があります。

◆12月課題予告



新入から1級まで

浅井機山先生書



すいせん
水仙の香にたち臨摸疲れあり

おかもとけいがく
岡本圭岳

〔句意〕

「臨摸」は手本を見てうつすこと。手本の書写に疲れて、筆を置き庭の水仙の香を賞でているのである。閑居の様子を表われた句。

〔古筆参考〕

津っ
は

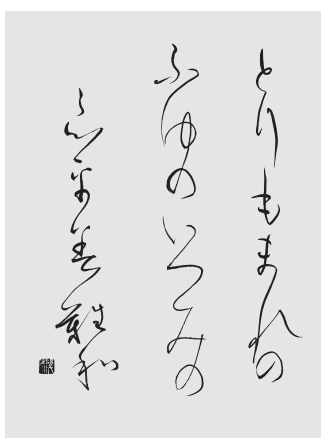
我か
るるるるる

連れ
るるるるる

悪あ
るるるるる

里り
るるるるる

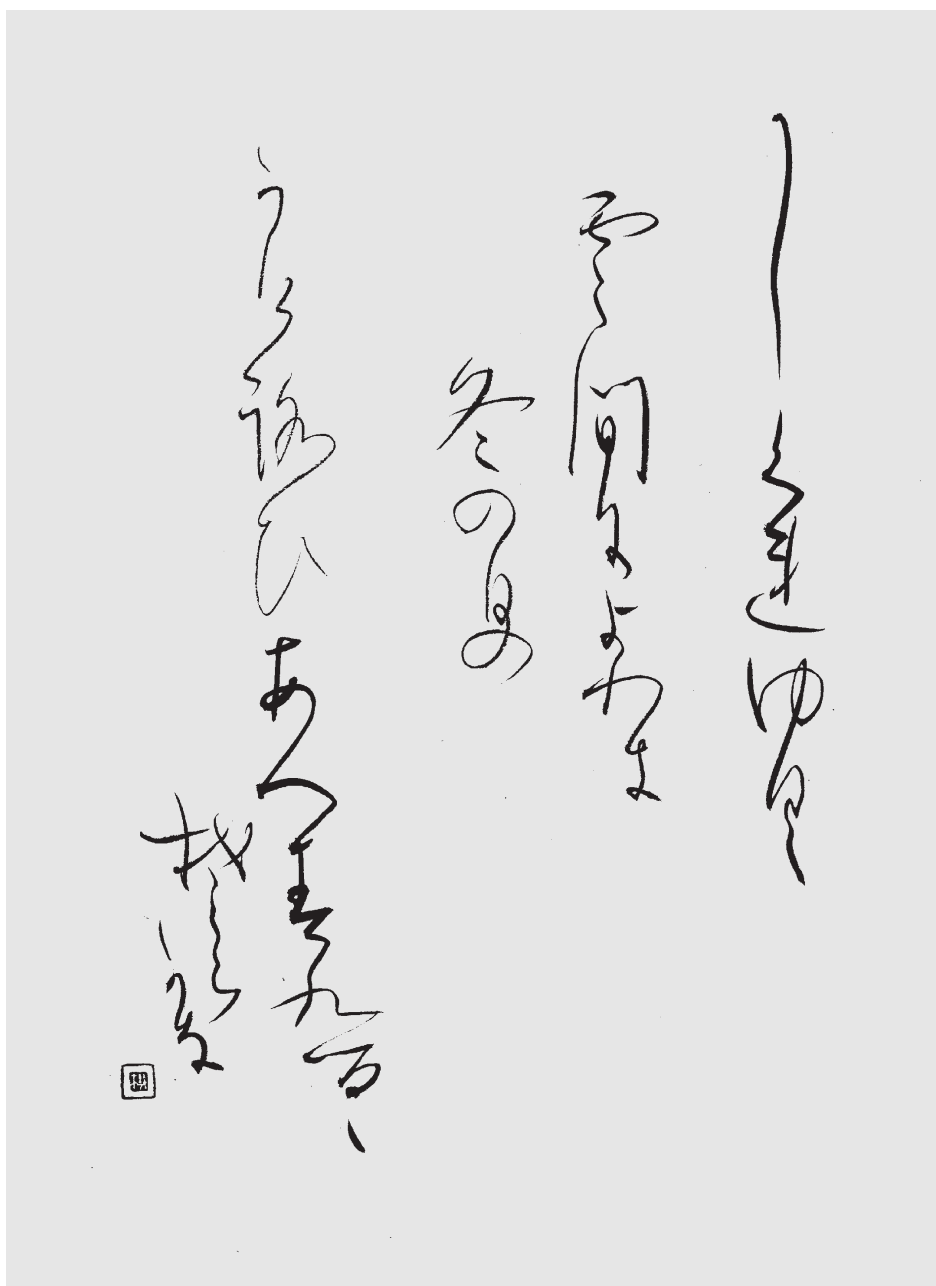
◆12月課題予告



とり
鳥も
まれ
稀の
ふゆ
冬の
いづみ
泉の
あみず
青水
輪

準初段から師範まで

浅井機山先生書



しぐれ^{久連}ゆく^具雲間に^尔弱^{よわ}き冬の日の

かげろ^{可介}ひあへず^{春九}暮るる^{留、楚}空かな^{可奈}

藤原為相

〔歌意〕

時雨を降らせはじめた雲に切れ間ができる
と、そこから弱い冬の日射しが射した。再
び雲が多くなっていくが、冬日射しのまま
に早くも暮れる空であるよ。

〔古筆参考〕

連れ 冬 暮るる

具く 冬 暮るる

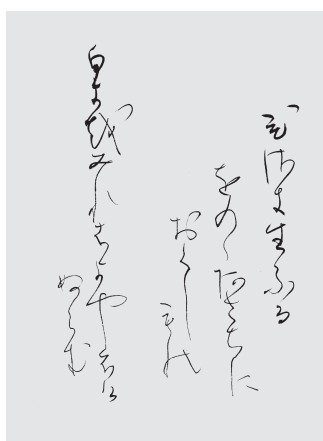
尔に 冬 暮るる

支き 冬 暮るる

路ろ 冬 暮るる

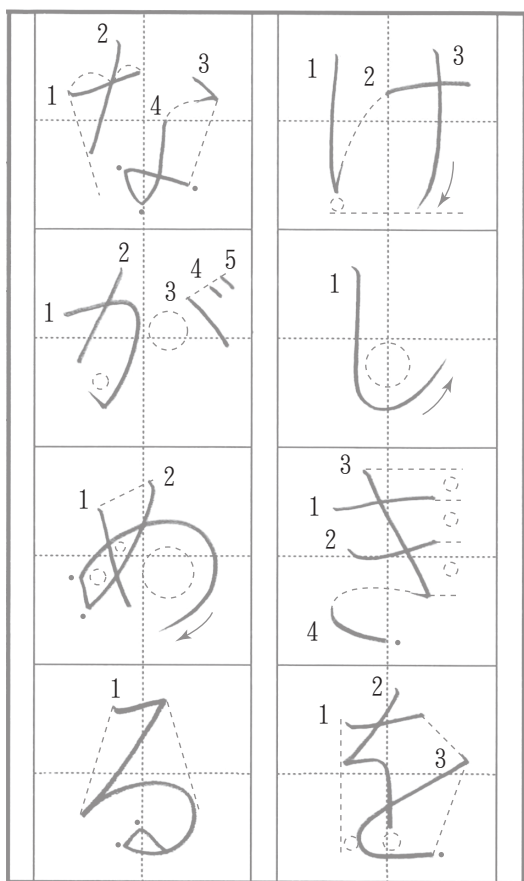
留る 冬 暮るる

◆12月課題予告



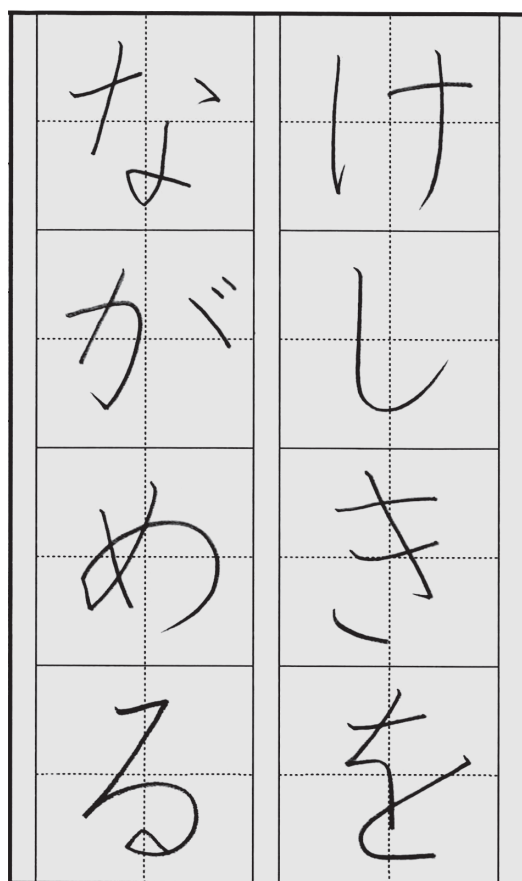
ひさぎ生ふる小野の浅茅に置く霜の
白きを見れば夜やふけぬらむ

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



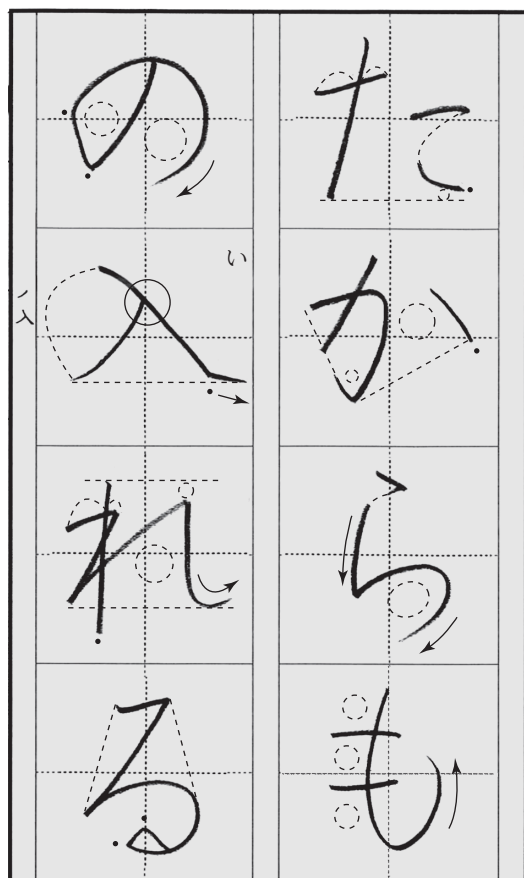
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



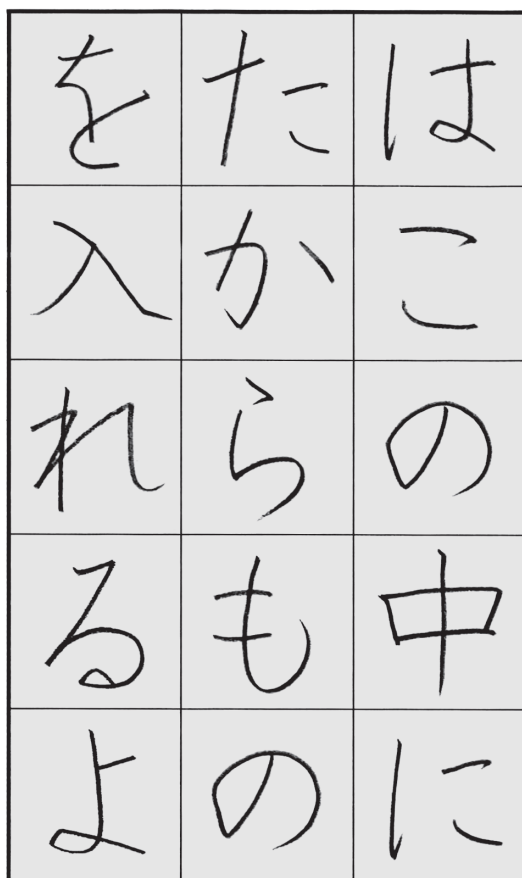
よ
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

み	一十才木	木	モク
き	一門目目	目	め
で		の	
船	ふね	つ	

新入1級

船	き	木
を	で	目
作	大	の
つ	き	つ
た	な	み

準初段以上

小二年

秋	あき	虫	むし
感	カン	の	
じ	十世市南市声	声	こえ
る		に	

新入1級

秋	た	庭
を	ち	で
感	の	な
じ	声	く
る	に	虫

準初段以上

小三年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

イ	雲 クモ
お	一 ひと
天 テン	つ
気 キ	無 な

新入〜1級

い	一	昨
お	つ	日
天	無	か
気	い	ら
だ	良	雲

小四年
準初段以上

小四年以上
前まえ 岨そわ 玉ぎよく 華か 書

会 カイ	両 リョウ
招 ショウ	親 シン
待 タイ	学 ガク
状 ジョウ	芸 ゲイ

解説(よく見て習いましょう)

を	会	両
わ	の	親
た	招	に
す	待	学
よ	状	芸

小五年
(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

教育部硬筆課題

ととの(う)

ボウ

防

カ

火

セツ

設

ビ

備

コウ

高

ソウ

層

用具 自由 (黒色に限る)

解説 (よく見て習いましょう)

マ	整	防
ン	つ	火
シ	た	設
ヨ	高	備
ン	層	の

小 六 年

(全員)

歩	確	左
道	認	右
を	し	を
渡	横	十
る	断	分

中二・三年

(楷書)

で	祖	離
近	母	れ
況	に	て
報	手	住
告	紙	む

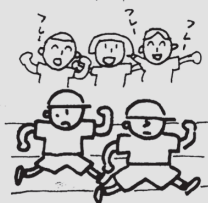
中 一 年

(楷書)

▼小三年以下の課題

い とう か せん
伊 藤 華 泉 書

心 こころ	体 からだ	元 げん	校 こう	朝 あさ
も	あ	気 き	庭 てい	の
ぼ	た	に	を	マ
か	た	走 はし	友 とも	ラ
ぼ	か	る	だ	ソ
か			ち	ン
			と	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 11月20日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

いな がき か しん
稲 垣 佳 心 書

冬 ふゆ	き	冷 ひ	イ	街 まち
を	ら	え	ル	を
告 つ	め	た	ミ	彩 いろど
げ	く	夜 よ	ネ	る
る	光 ひかり	空 そら	ー	
	が	に	シ	
			ヨ	
			ン	

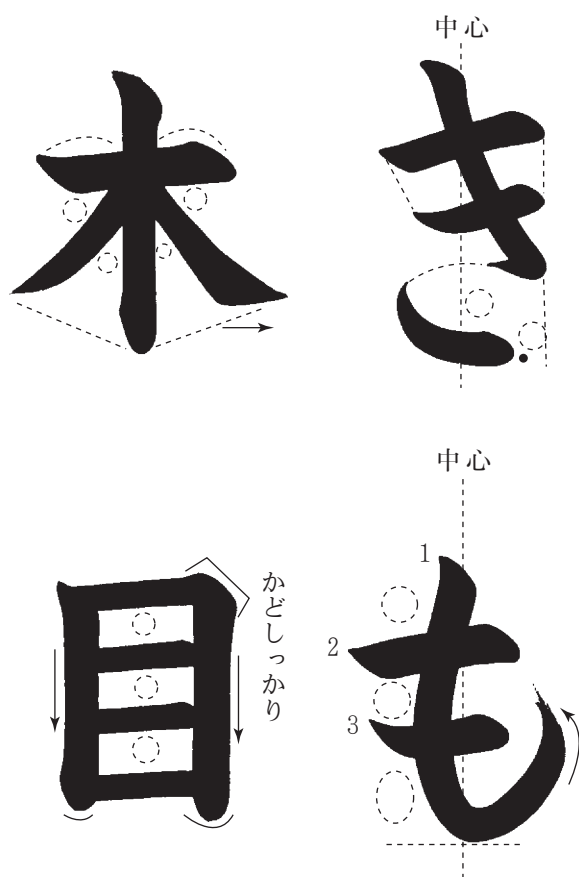


◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





学会
小五

虫の声
小三

気学芸
虫声天

気お天
小四

小三・小五年
酒井智仔書

中二・三
歩横
道断

小六
設防
備火

小六・中二・三年

永谷恵子書

報

右上がりに
設

断 長く

備

歩

1 2 3
近

中一
報近
告況

第131回 硬筆検定試験受験要項

11月20日締切り

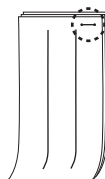
■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十一月のすべての硬筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。



ただし教範コースは、上から、①規定②かな③はがき④教育部手本課題（小一から）⑤小論文⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を十二月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和八年十一月二十日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和九年二月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

一般部三段コースまで（規定・かな）… 一、二〇〇円

規定 …… 一、四〇〇円

はがき・かな …… 二、〇〇〇円

教育部 …… 八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課 題	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷 書	行 書	草 書				
一 般 部	1級コース	1級まで	下 掲 課 題 (級位用紙使用)	1	1	—	(イ)1	—	3	1,800
	三段コース	三段まで	下 掲 課 題 (段位用紙使用)	1	1	1	(ロ)1	—	4	2,500

▶か な……石 垣 秀 華 書

▶規 定……奥 村 憲 照 先 生 書

課題（ロ）
段位用紙

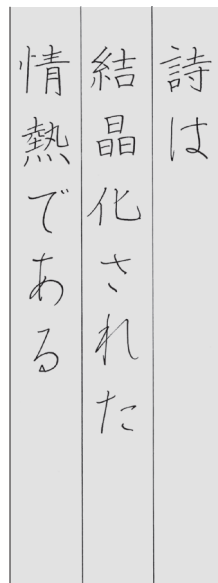
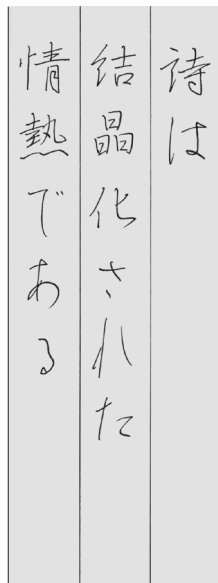
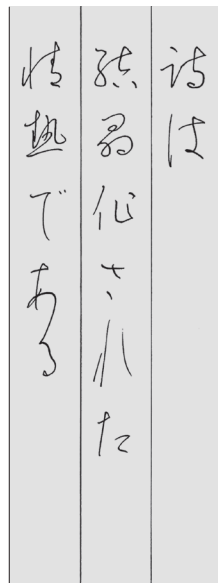
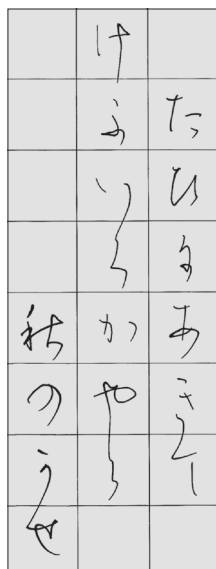
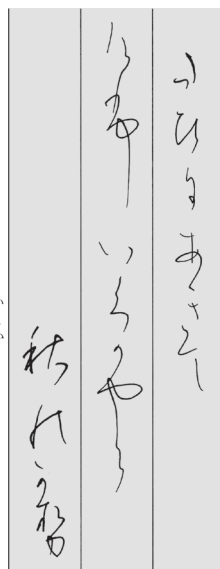
課題（イ）
級位用紙

《行草または草書》
段位用紙

《行 書》
段位用紙

《楷 書》
段位用紙

たびにあきてけふ幾日やら秋の風（芭蕉）



◎1級コースは級位（マス目）用紙使用のこと。

◆一般部書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

◎師範試験は、毎年二月に単独で実施しています。

課 題 コース	受 験 資 格	最 高 昇 段 級 位	課 題	規 定			かな	はがき	計	受 験 料
				楷書	行書	草書				
一 般 部	書範コース ・有 段 者 ・支局・支部長	書範まで	下記3科目活字課題	1	1	1	(口)1	1	5	3,400
	教範コース ・書 範 ・支局・支部長	教 範	下記3科目活字課題 教育部手本課題 小論文(私の学習法)	1	1	1	1	1	10	4,600
教 育 部	普 通 コ ー ス		11月しめきりの月例競書課題 ※筆記具は自由						1	450
	会 友 コ ー ス	・四段以上の中学生 ・準会友の小学生	11月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書) ※筆記具は自由						2	770

◎筆記用具は自由としますが、教育部手本課題のみ指定があります。ご注意ください。

■書範・教範コース受験のきまり

- 一、書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり
の受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、すで
に単位を取得されている、受験の際は改めて
全科目(小論文不要)を提出して下さい。ただ
し、合格科目については、審査の対象から除き
ます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと
無効になります。

書範・教範コース課題

規定 両コース共通

●楷・行・草(行草)、三体提出(段位用紙使用)

夫に才智あり

妻に忍耐あるは

家内安全のもと

かな

▼書範コース……前頁かな(口)課題(段位用紙使用)
▼教範コース……左記の和歌を、本会かな用紙に
ちらし書きにして下さい。

むらさめ つゆ
村雨の露もまだひぬ真木の葉に
霧たちのぼる秋の夕暮(新古今和歌集)

はがき 両コース共通

夏も近づくと八十八夜の歌のように
もう初夏の候となって参りました。
このたびご恵贈賜りました新茶の
香ばしいかおりに、小高い一面の
お茶畑が懐かしく思い出されます。
まずは一筆御礼まで。

(はがき用紙使用)

■教育部手本課題 教範コースのみ

●左記の学年で計四枚

用具＝えんぴつ

小 1
た 犬
女 を
の つ
子 れ

用具＝えんぴつ

小 3
を ん 学
聞 な 級
き の 会
ま の で
す 意 み

用具＝鉛筆以外

小 4
に 極
住 寒
む の
人 地

用具＝鉛筆以外

中 3
器 た 高
と も 温
称 の で
す を 焼
る 磁 い

(注) 氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。
(小1年はひらがなで書くなど)

小論文課題 教範コースのみ

▼題 名「私の学習法」

●四百字詰原稿用紙二枚(八〇〇字)以上
※原稿用紙二枚半程度にままとするとよい。
※用具は自由。(鉛筆不可)

会友コース課題

▼十一月締切りの自分の学年の月例課題一枚
▼左の活字課題の行書一枚
計二枚を一組とし、右肩をとじます。

用具＝自由

友 並 若
と 木 葉
歩 の か
い 道 お
た を る

(行 書)

第91回 毛筆検定試験受験要項

12月18日締切り

■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。（短期特別課題は出品可）

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴（初回のみ。詳細は本部へ問合せ）の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。（振替、その他は不可）

●締切り 令和八年十二月十八日（本部必着）

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和九年三月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留（返信用封筒同封）でお申込み下さい。

（左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします）

※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

五段コース以上
会友コース以上

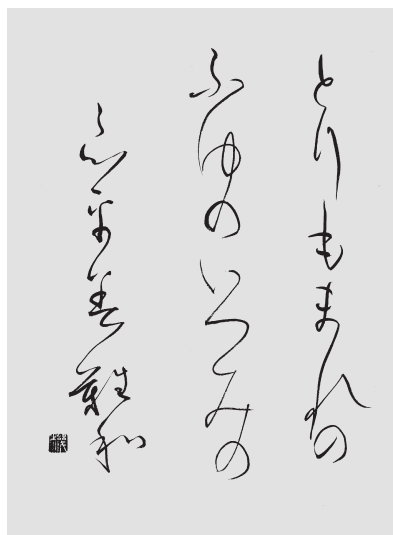
漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな	漢字半紙	細字・かな
一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円	一、二〇〇円	一、八〇〇円
一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円	一、四〇〇円	一、二〇〇円
三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円	三、八〇〇円	三、六〇〇円
二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円	二、〇〇〇円	一、八〇〇円
九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円	九〇〇円	八〇〇円

◆一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	下掲課題	1	1	1	—	3	1,800
	三段コース	三段まで	22ページに掲載の漢字・かな・細字	1	1	1	1	4	2,500

〔1級コース課題〕

《かな》



とりもまなな
ふゆの泉の青水輪
（大野林火）

浅井機山先生書

《行書》



松柏貞心を見ず

柴田桃花書

《楷書》



◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

コース	課 題	受 験 資 格	最 高 昇 位	課 題	漢 字			かな	細 字	条 幅	教育手 部 本	計	受 験 料
					楷書	行書	草書						
一 般 部	五 コ ー ス	有 段 者 支局・支部長	五段まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	—	—	5	3,100
	書 コ ー ス	有 段 者 支局・支部長	書範まで	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	—	6	3,600
	教 コ ー ス	書 範 支局・支部長	教 範	下記（活字）	1	1	1	1	1	1	2	8	4,600
教 育 部	普 通 コ ー ス	—	12月しめきりの月例競書課題									1	450
	会 友 コ ー ス	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書）									2	770

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。



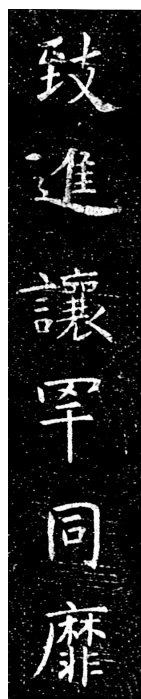
▼書 譜

鴈行然張精熟



▼集字聖教序

典御十方舉威



▼孔子廟堂碑

致進讓罕同靡

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと
おりの受験有資格者に限ります。
 - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対
象から除きます。
 - 三、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効
になります。



（行 書）

会友コース課題

- ▼十二月締切りの自分の学
年の月例課題一枚
- ▼上の語句の行書一枚
- 計二枚を一組とし、右肩
をとして出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。
（小1年はひらがなで書くなど）



教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

今年の寒さは格別感じられ
早くも冬ごもりをしたくなるほど
です 木枯らしに負けませんよう
どうぞお元気で過ごして下さい

細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下
さい。

冷 硯 欲 書 先 自 凍
孤 燈 何 事 獨 成 花

条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

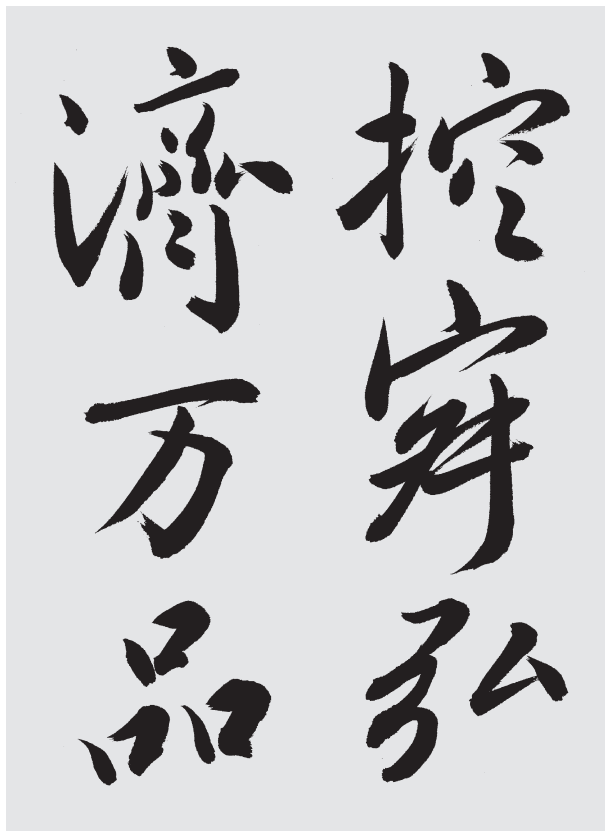
次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

- かな 三段コース以上共通（かな用半紙）
- 次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。
 - ◎ひさぎ生ふる小野の浅茅に置く霜の
白きを見れば夜やふけぬらむ（藤原基俊）
 - ※22頁参照

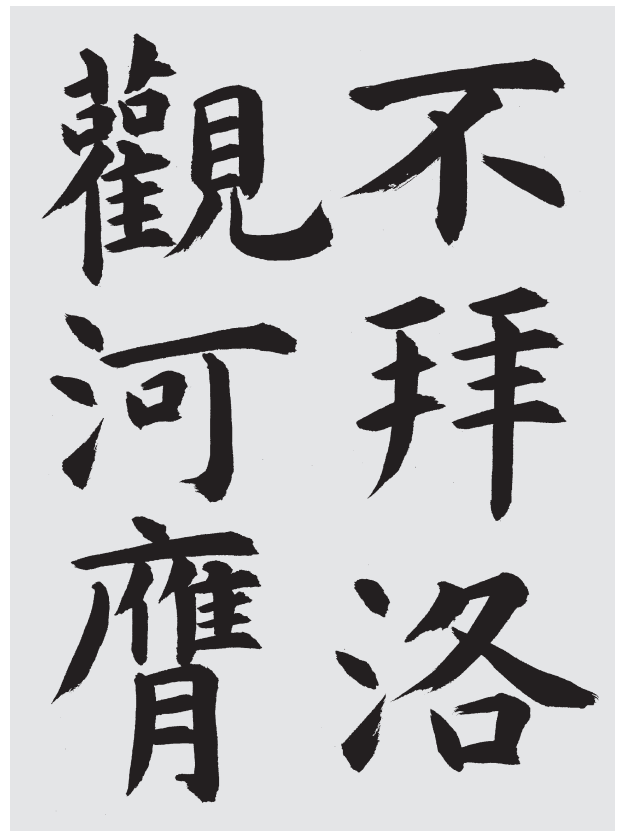
◆毛筆検定試験三段コース課題

《集字聖教序》

《孔子廟堂碑》



控寂弘濟万品

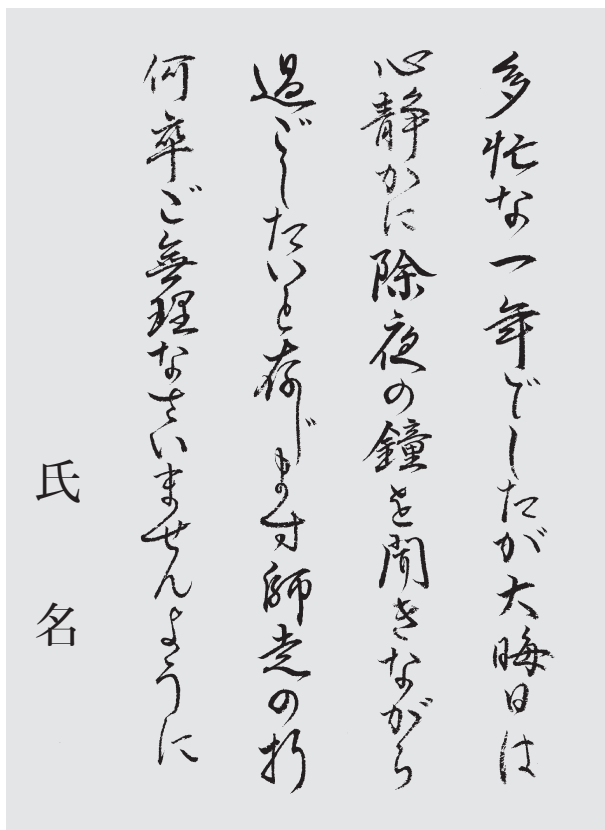


不拜洛觀河膺

神谷葵水先生臨

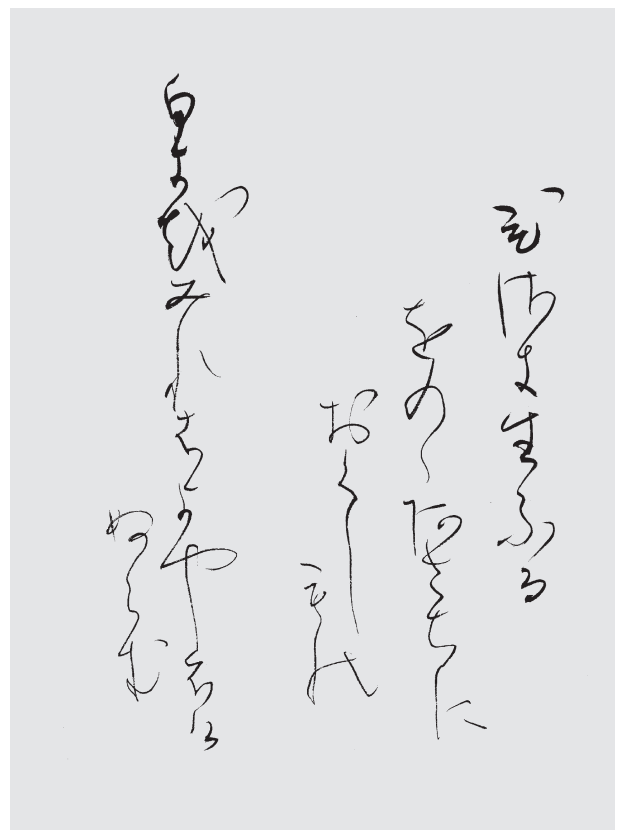
《細字》

《かな》



氏名

伊藤梅香書



ひさぎ生ふる小野の浅茅に置く霜の
白きを見れば夜やふけぬらむ (藤原基俊)

浅井機山先生書

※かな・細字課題は十二月の月例課題を兼ねます。